

《 事 例 》

80歳、男性。

施設入所していたが数日前から37.0℃台の微熱あり。

食事量も減っていたが経過観察していた。

しかし、夜になって38.0℃台の熱が出て意識も朦朧としていたため家族へ連絡し、救急車で病院へ搬送した。

夜間だったため施設職員は対応できず家族だけの搬送となった。

本人は搬送された病院で肺炎の診断を受け、治療のため入院となった。

入院中、病院からの連絡もなかったため施設からは1度も連絡することなく1週間の治療後、退院となった。

退院時も病院側から施設へ特に連絡もなかった。

退院時は家族のお迎えで施設へ戻ってきたが、施設は家族からの情報だけで本人へのケアを継続している。